

山口市景観審議会 全体講評

今回、山口市で初めてとなる地域の良好な景観形成に貢献する活動の表彰選考に取り組みましたが、地域特性に応じ、高い意識のもと、創意工夫を凝らした活動が各地域で行われていることを改めて認識しました。

この度は、要項に基づき、3点の最優秀賞を選定させていただきましたが、御応募いただいた活動は、いずれも景観に対する高い意識に裏付けられ、目的が明確で、多様な活動により新たな視点を取り入れることで、景観を守るだけでなく、育てていこうとする点が印象的でした。

このような点を踏まえ、惜しくも最優秀賞に選定されなかった活動に対しては、敬意を表し奨励賞を贈らせていただくことといたしました。

市内全域で、このような活動が住民主体のもと、幅広い視野で進められていることに、山口市民の高い景観意識を感じます。

この度、御応募いただいたような、住民主体の景観づくりと行政による景観づくりが結びついた、協働による景観づくりが今後さらに進んでいくことを期待します。

最優秀賞

まちなみ形成活動部門

『亀山公園を愛し育てる会』

団体名 特定非営利活動法人 亀山公園を愛し育てる会
代表者 坂本 強



山口市景観審議会 講評

山口市中心部を眺望できる亀山公園をまさに愛し育てることを目的として、10年以上の長きにわたり、訪れる人へのホスピタリティの向上につながる活動や様々な啓発活動が積極的に行なわれるとともに、行政との対話等を含めた幅広い活動が高い評価を得た。

最優秀賞

景観資源継承活動部門

『大殿さんぽ』（端午deさんぽ、大殿あかりさんぽ、大殿ひなさんぽ）

団体名 特定非営利活動法人 大路小路まち・ひとづくりネットワーク
代表者 内山 秋久



山口市景観審議会 講評

旧街道筋に残る町家の軒の連なる特性を上手く活用することで、自分の住む地域の魅力や価値を再認識し、将来に向けてまちなみが保全されていくことを目的として活動されており、高く評価できるものである。軒先にこいのぼりのかかるまちなみを、子供たちが楽しげに歩く写真が大変印象的であった。

啓発活動部門

『大内文化特定地域内における景観形成に関する住民活動』

団体名 大内文化街道まちなみ協議会
代表者 小山 哲彦



山口市景観審議会 講評

大内文化特定地域において、行政が進める道路やまちなみ整備について、地域住民が自分たちの住むまちとして主体的に考えるとともに、地域の美しい景観づくりに対して自分たちができることを自ら考え、実践するという姿勢が高く評価された。

奨励賞

景観資源継承活動部門

『兜山古墳整備』

団体名 秋穂二島地区連合自治会
代表者 野島 義正

『行政との協働で進めた近代建築顕彰事業』

～山口県旧県庁舎・旧県会議事堂創建100周年記念事業～

団体名 山口近代建築研究会
代表者 原田 正彦

『空き家を使った現代美術展』

団体名 Do a front(ドゥー・ア・フロント)
代表者 藏田 章子

『自然豊かな小鯖の景観を守り継ぐ』

団体名 小鯖地域づくり協議会
代表者 徳重 忠治

啓発活動部門

『近代建築や町並みをテーマとした景観啓発活動』

～子どもから大人まで、みんなで景観を感じよう！好きになろう！～

団体名 特定非営利活動法人 まちのよそおいネットワーク
代表者 原田 正彦

『森林セラピー山口』

森の案内人との森林セラピーガイドウォーク』

団体名 森林セラピー山口 森の案内人の会
代表者 湯川 忠彦